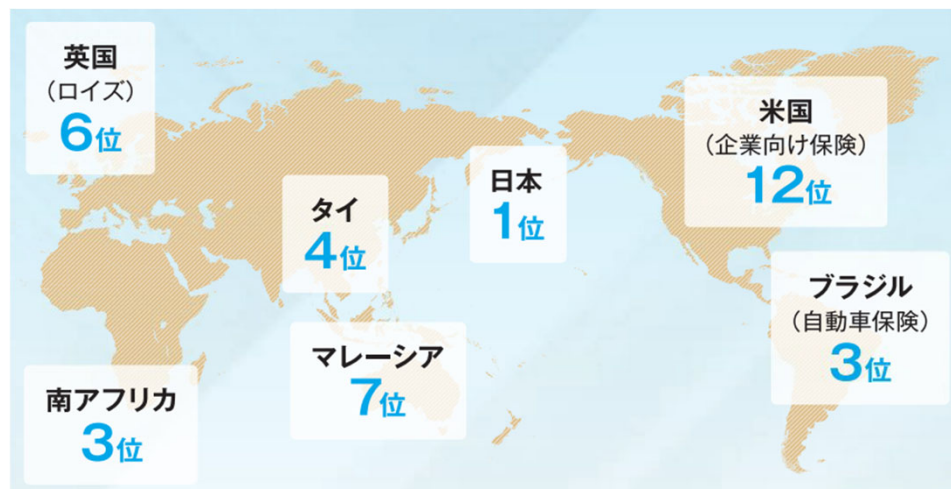


東京海上グループの概要

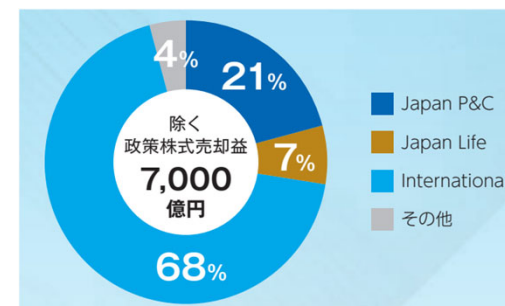
- 東京海上グループは1879年創業の日本初の損害保険会社である「東京海上保険会社」を母体とし、「お客様や社会の“いつも”を支え、“いざ”をお守りする」ことを創業以来のパーパスとしている保険グループです。
- 現在、日本と世界56の国・地域で損害・生命保険やリスクソリューション事業等、幅広い事業分野で保険商品・サービス等を提供し、時価総額12兆円超、世界トップクラスのグローバル保険グループとなっています。

世界各地でトップクラスのポジション確立



※損害保険料の各国内順位
(出典) AXCO, IRDAI, IPRB, SUSEP, Swiss Re, FSCA Financial Sector Conduct Authority, S&P Capital IQ, PA annual report, Global Data forecasts, KPMG insurance survey, 各社公表資料

利益構成比・損保時価総額ランキング(2025.8.31時点)

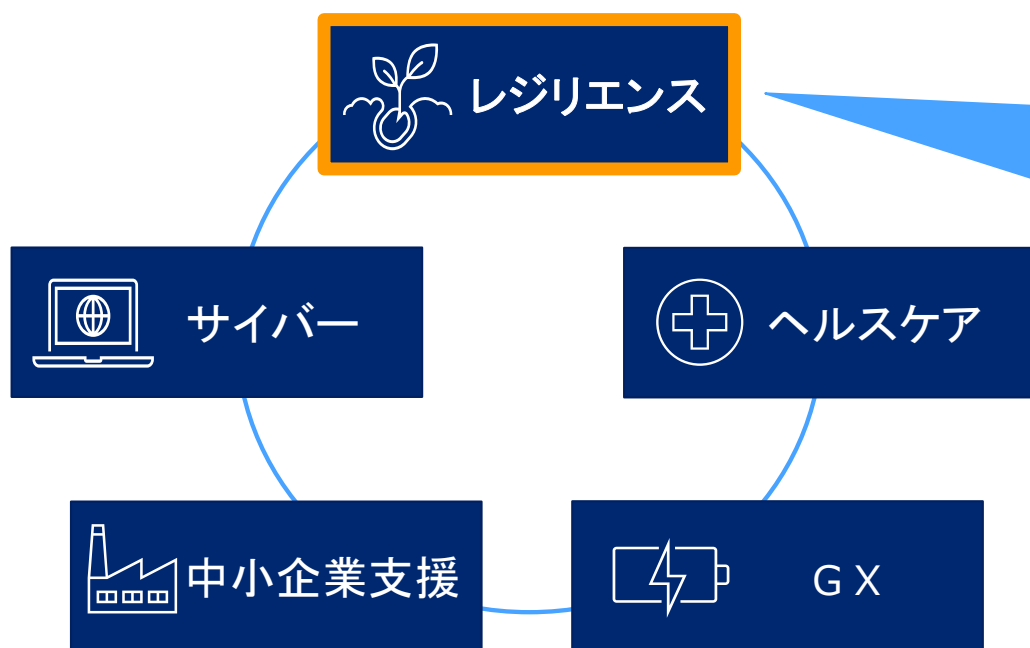


順位	社名		時価総額 (億円)
1	アリアンツ	ドイツ	240,051
2	プログレッシブ・コープ	米国	212,767
3	チャブ	米国	161,112
4	チューリッヒ	スイス	157,202
5	アクサ	フランス	148,312
6	東京海上ホールディングス	日本	123,795
7	トラベラーズ	米国	89,800
8	オールステート	米国	78,758

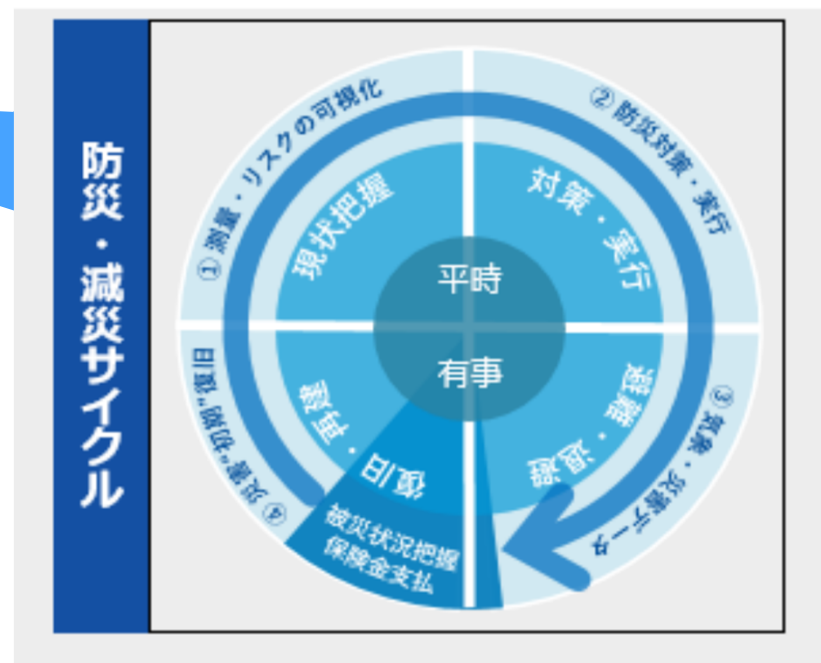
東京海上日動におけるレジリエンスの取り組み

- 東京海上日動（以下、当社）は、事業を通じて社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会づくりを実現するため、SDGsを含む様々な社会課題の中から、“当社が特に解決に貢献できる重点領域”として、「レジリエンス」「サイバー」「中小企業支援」「GX」「ヘルスケア」の5領域を選定しています。
- 「レジリエンス」の領域では、自然災害大国である日本の災害レジリエンス（被害の防止・極小化・復旧を早期化）を向上させるため、有事の際の「保険金の支払い」だけでなく、事故の予防や発生時の負担軽減、迅速な復旧等の事前の安心・安全の提供にも取り組んでいます。

東京海上日動 社会課題重点5領域



<防災・減災サイクル>



「岩手県グリーンボンド・水害レジリエンス枠」への投資

- 当社は、安心・安全を提供するための事業領域をさらに拡大し、水害による家計・企業の損害防止・被害軽減を行うため、水害対策事業を目的とした地方債への投資を行っています。本枠組みでの地方債投資を行うことで、地域の災害レジリエンスの向上に寄与できるものと考えています。
- 今回、水害対策を進める岩手県が発行する、河川の改修整備を資金使途とする地方債を購入しました。本件の投資概要は以下のとおりです。

水害による損害発生防止・被害軽減

⇒ 災害レジリエンスの向上



注）資金充当先の水害対策事業は岩手県が選定し、当社の地方債購入に先行して事業執行されているものが該当します。

<「岩手県グリーンボンド・水害レジリエンス枠」の概要>

名称	岩手県グリーンボンド・水害レジリエンス枠
発行額	総額10億円
当社投資額	総額10億円
資金使途	河川改修整備に関する4つの事業
年限	10年（満期一括償還）
発行日	令和8年7月24日